

練馬区議会議員(無所属)

かとうぎ 桜子

区政レポート



2012年6月号 (議会報告通号 vol.54)

〒178-0063 練馬区東大泉 3-1-18-102

電話 03-3978-4154 FAX 03-3978-4158

メールマガジン発行中!



定例会がない期間に、大学のゲストスピーカーと呼ばれました。

「どうして議員になろうと思ったのか」「どんな風に議員になったのか」「議員になってどんな活動をしているのか」といったテーマでお話をしてきました。(2012年5月8日)

区議会・第二回定例会は、6月1日～22日

一般質問をおこないました。

練馬区議会では、正副議長・監査委員を除くすべての議員が1年に1度は一般質問をできるというルールのもとに議会運営をしています。質問時間は25分間。区政に関するどんなことについても聞くことができますので、「一般質問」と言います。今回、私は、

介護保険(今回の介護保険改定の影響、介護人材の確保、介護予防について)

障害のある子の特別支援教育

戸籍や住民票の写しを第三者が入手する際の個人情報保護

がん検診の啓発

生活保護

といったテーマで質問をしました。

また、今回の定例会には、図書館・児童館・学童クラブなどを「指定管理者制度」を使って民間に委託するための議案、外国人登録法を廃止することに伴う条例改正といったさまざまな議案もあります。

7月13日には、これらのことをご報告する区政報告会も企画しておりますので、ぜひご参加ください。

二〇一二年六月

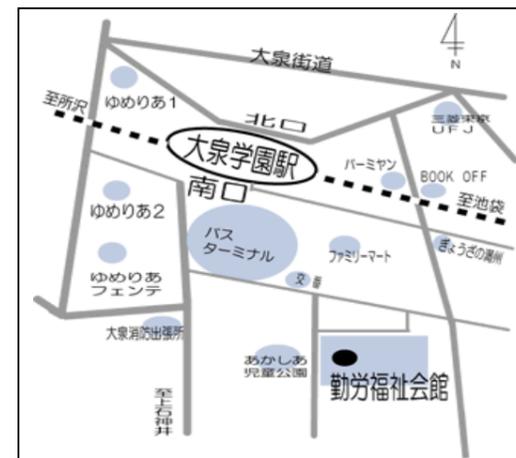
かとうぎ 桜子

区政報告・意見交換会を開催します。

日時：7月13日(金)午後7時～8時30分まで
場所：勤労福祉会館 会議室大(2階)

6月中に開かれる区議会・定例会の内容のご報告をさせていただきます。

あらかじめ、区民の皆さんがどのようなテーマの話をお聞きになりたいか、確認させていただきたいので、ぜひ別添のアンケートはがきにご記入ください。お寄せいただいたご意見をもとに、かとうぎ桜子からご報告させていただいたうえで、ご参加いただいた皆さまとの意見交換の時間をとりたいと考えております。



8月4日、5日 福島の勉強会へ行きませんか

(詳細は別紙参照。7月10日までにお申し込みください。)

参加費：3万円程度

(交通費1万6千円程度、宿泊費1万2150円、勉強会参加費2千円、その他オプションツアー参加費など)

日時：8月4日 午前8時頃 大泉学園駅北口駅前集合

行き先：二本松市男女共生センター

【主な内容】

8月4日 13時30分～16時30分 全体会

出演：武藤類子さん(ヒロアクション)、吉野裕之さん(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)

8月4日 夜 交流会

8月5日 9時30分～12時 分科会(いずれかに参加)

「震災後の保養・避難」

「米の放射能汚染ゼロへの挑戦」

「放射線の授業をどうつくるか」

「認知症予防」

「若者の視点でみたふくしま」

8月5日 午後 オプションツアー(天栄村または福島県立美術館)

8月5日夜には大泉に帰着予定。(交通手段や帰る時間などは参加希望者と相談して決定します。)定員に達し次第、締め切らせていただきます。

かとうぎ桜子プロフィール

1980(昭和55)年生まれ。桐朋女子中学・高校、慶應義塾大学文学部を卒業。大学在学中にホームヘルパー2級の資格を取得、さらに福祉の勉強をするために上智社会福祉専門学校(夜間)に学ぶ。NPOにて介護の仕事をする中で、地域福祉・地域社会にさらに深く関わることをめざし、2007年、区議会議員選挙に初挑戦、初当選。2010年3月立教大学大学院・21世紀社会デザイン研究科を修了。2011年4月、練馬区議会議員選挙にて2期目に当選。健康福祉委員会、災害対策等特別委員会に所属。【資格】社会福祉士、保育士、中学高校教員免許(国語)、ホームヘルパー2級。

かとうぎ桜子事務所

〒178-0063 練馬区東大泉 3-1-18-102

電話 03-3978-4154 FAX 03-3978-4158

HP <http://www.sakurako-nerima.com/>

メール sakurako_happy_society@yahoo.co.jp

このレポートを、ぜひお知り合いに配布していただきませんか? 何部でも結構です。ご協力いただける方はご連絡ください。



自殺予防の対策の充実を

毎年、自殺者が3万人を超えている日本。練馬区では、身近な家族や友人の自殺の兆候に早めに気付き、相談窓口につなげることができるようになるための「ゲートキーパー研修」を行っています。そのほかにも相談窓口の設置や自殺予防の啓発をさらに進めるべきとの観点から、議会で改めて指摘をしました。

仕事帰りに相談できる窓口を

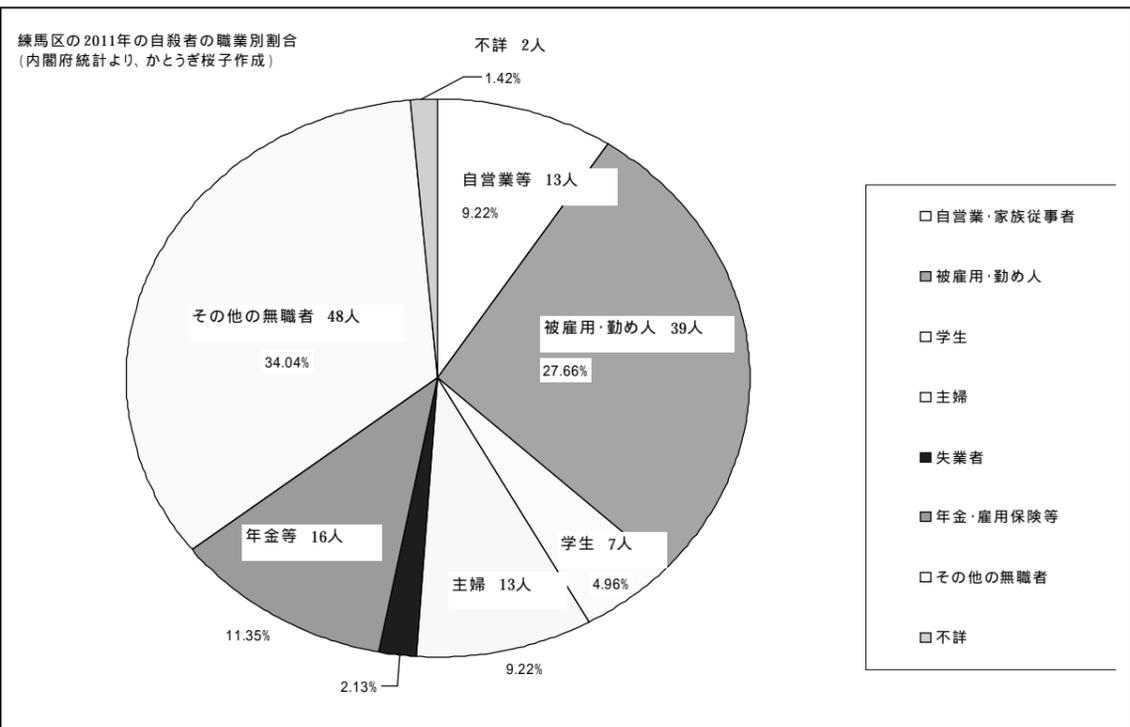
内閣府では、自治体ごとの自殺の統計を公表しています。それに基づき、練馬区の状況を分析してみると、2011年は会社などに雇われて仕事をしている人の自殺が多かったことが分かります。

今、練馬区の相談窓口は、保健相談所における心の相談や、区民相談所における多重債務の相談など、内容別にはばらばらに行われています。平日の昼間が中心なので、仕事をしている人は行くことができません。こうした区民の皆さんの相談を受けられる体制をとるためには、例えば平日夜間の仕事帰りに立ち寄れる相談窓口を工夫する必要があります。また、自殺

問題は「健康」「仕事」「借金」「家族関係・人間関係」など複合的な悩みが重なって起こる場合が多いので、様々な専門員が一堂に会して相談を受けられる体制も必要です。

たとえば、大泉学園駅南口の駅の近くにある勤労福祉会館は、その名の通り労働相談の相談会をやることがありますので、そうしたものと福祉・保健を連携させた相談会。石神井公園駅北口ピアレスのなかには「ハローワークの出張所的な役割を持つ」「ワークサポートねりま」がありますので、こうしたところと連携することも可能でしょう。

駅近くの区立施設で、仕事帰りにちよつと立ち寄れる相談窓口を、年に何回か期限を区切っても実施することは、自殺予防対策のひとつといえるでしょう。



足立区の「生きる支援」(自殺対策)

最終更新日 2012年5月8日

足立区は自殺対策という「生きる支援」に取り組んでいます

足立区の自殺対策

- ◆都市型対策モデル
- ◆主な取り組み
- ◆自殺統計
- ◆生きる支援映像番組・CM

相談会日程

- ◆雇用・生活・ことと法律の総合相談会
- ◆こころの健康相談

ゲートキーパーの広場
(講演会などのお知らせ)

- ◆ゲートキーパーとは
- ◆相談の受け方

相談窓口一覧表

- ◆足立区こころといのちの相談窓口一覧
- ◆足立区消費生活・多重債務相談
- ◆足立区版「いのちと暮らしの相談ナビ」

右上が足立区のホームページの一部。一目で分かりやすい。

左下は練馬区のホームページの一部。足立区に比べると字が多く、工夫の余地がある。

自殺対策

更新日: 2010年10月29日

「壊れてる？」心の声を聞いてみて。

話してみるだけで、気持ちが楽になることもあります。心の痛み、生活、金銭などの問題について専門の相談機関に相談してみませんか？

● まずはご相談ください

この12年間、全国で年間3万人以上の方が自らの命を絶っています。練馬区内でも、毎年100人以上の方が自殺で亡くなっています。自殺をする方の多くは、うつ病をはじめとした心の病を抱えていたと考えられます。また、多重債務など、経済的な理由から自殺を考える方も少なくありません。心の病の多くは、専門医療機関を受診することにより治療が可能です。また、多重債務も専門機関に相談することで解決が図れます。自殺を未然に防ぐためには、本人や家族が自分で悩みを抱え込まないことが大切です。区や東京都などは自殺を減らすためにさまざまな相談に対応しています。自分や家族の大切な命を守るために、まずはご相談ください。

● 相談機関の選び方

- ◆ 健康問題を抱えている場合→うつ病など心の相談(保健相談所)へ
- ◆ うつ病(不眠、食欲の低下、気分落ち込み等)など心の病の症状が明らかに見られる場合は、専門医療機関を受診をお願いします。医療機関にかかる前に相談したい。また、適切な医療機関が分からない場合は地域の保健相談所に相談ください。
- ◆ 経済問題を抱えている場合→多重債務の無料相談へ

借りては返す日々々に一人で悩んでいませんか？多重債務は放置したままでは解決しません。債務の状況整理、多重債務解決への運動の相談、弁護士等に相談できる専門機関の紹介を行っています。まずはご相談ください。

● 各相談先はこちらをご覧ください。(03-5198-80)

● こころと命のハンドブック

悩みを抱える人たちの必要に応じて、「生きることを支援する」人材をゲートキーパーと呼びます。区ではゲートキーパーの皆さまの参考となる各種の情報を集めたハンドブックを作成

区ホームページの工夫も必要

あわせて、啓発もまだ不十分です。練馬区は2年前まで、国が定めた3月の「自殺対策強化月間」にだけ自殺予防の啓発をおこなっていたので、自殺予防のホームページも3月にだけ開設していました。私は、3月に限らずいつでも相談窓口を知ることができる必要があると指摘し、以来、区のホームページには常時、自殺予防に関するページが設置されています。

しかし、その見やすさという点で、いまだ課題があります。

23区の中では、足立区が自殺予防に非常に力を入れています。区のホームページも、相談窓口・民間の団体・家族会の紹介など、とても見やすいページです。一方、練馬区のホームページは文字だらけで、せつかく民間の支援団体のページへのリンクが張ってあっても説明も十分であるため、まだまだ改善の余地があります。

今後も、より良い形での自殺予防対策を提案していきたいと考えています。